

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	ユニバーサルデザイン		
科目基礎情報							
科目番号	0642		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	1			
教科書/教材	「建築・交通・まちづくりをつなぐ 共生のユニバーサルデザイン」 / 三星 昭宏 (ほか) / 学芸出版社						
担当教員	菊池 幸恵						
到達目標							
1. ユニバーサルデザインの成立背景やその意味、取り巻く法制度、条件等について説明できる。 2. モビリティ・マネジメントと公共交通におけるユニバーサルデザインについて説明できる。 3. 空間計画を考える上で、ユニバーサルデザインが必要となる場面とそれに対応したデザインに対して説明でき、ユニバーサルデザインについて理解できる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ユニバーサルデザインの成立背景やその意味、取り巻く法制度、条件などについて体系的に説明できる。		ユニバーサルデザインの成立背景やその意味、取り巻く法制度、条件等についてある程度説明できる。		ユニバーサルデザインの成立背景やその意味、取り巻く法制度、条件などについて説明できない。		
評価項目2	モビリティ・マネジメントと公共交通におけるユニバーサルデザインについて事例等を用いて具体的に説明できる。		モビリティ・マネジメントと公共交通におけるユニバーサルデザインについてある程度説明することができる。		モビリティ・マネジメントと公共交通におけるユニバーサルデザインについて説明ができない。		
評価項目3	空間計画を考える上で、ユニバーサルデザインが必要な場面とそれに対応したデザインについて事例を用いて具体的に説明できる。		空間計画を考える上で、ユニバーサルデザインが必要となる場面とそれに対応したデザインに対してある程度説明できる。		空間計画を考える上で、ユニバーサルデザインが必要な場面とそれに対応したデザインに対して説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 B JABEE学習・教育到達目標 (B-2)							
教育方法等							
概要	ユニバーサルデザインとは、障がいや能力の如何、老若男女や国籍・文化・言語などの違いなどを問わずすべての人が皆等しく住みやすい快適な社会をデザインしていくことである。そのために、ユニバーサルデザインが必要になってきた背景やその意味について理解する。また、様々な立場の人たちの生活環境に関する基礎的知識を持ち、特に、まちづくりなどの空間計画を考える上で、ユニバーサルデザインが必要となる場面とそれに対応したデザインに関して国内外の事例の学習を通じて、ユニバーサルデザインについて具体的に説明できることが到達レベルである。						
授業の進め方・方法	全ての人に対応したデザインという理念であるユニバーサルデザインに取り組むことはとても難しいが、多文化共生や少子高齢化などの社会的問題に対して新聞や書籍などで自らの問題意識をはぐくみ、デザインをつなげていくことが必要である。そのためにも、ユニバーサルデザインの意味や重要性についてもしっかりと理解していくことが必要である。						
注意点	JABEE教育到達目標評価：定期試験100%(B-2)						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週	ユニバーサルデザインとは (コア)			バリアフリーやユニバーサルデザインの成り立ち、その考え方、社会的な意義について説明することができる。	
		10週	ユニバーサルデザインの7原則とPPP評価法			ユニバーサルデザイン7原則やPPP評価法などについて説明することができる。	
		11週	多様化する生活環境とユニバーサルデザイン			様々な立場の人たちの生活環境に関する基礎的知識を持つことができる。	
		12週	国内外におけるユニバーサルデザインの事例			国内外におけるユニバーサルデザインの事例を取り上げ、ユニバーサルデザインが必要な場面がどのようなものか説明できる。	
		13週	公共交通とモビリティ・マネジメント (コア)			モビリティ・マネジメントと公共交通についての基礎的知識を持ち、具体的事例を挙げて説明できる。	
		14週	日米のユニバーサルデザインに関する法律について			日本と米国におけるバリアフリーに関する法規制に関して説明すること	
		15週	学年末試験				
		16週	答案返却・解答解説(1h)			間違った箇所を理解できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100

基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
專門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30